

Mac Fan BOOKS

iMac

マスターブック

OS X Yosemite対応版

松山茂・矢橋司 [著]

便利な
使い方を
発見!



はじめてのユーザー でもよくわかる!

Yosemiteの新機能をチェック／iMacをセットアップ
キーボードやマウスを操作／起動しないときの対処法
メールを送受信／iCloudの設定を行う
iPhoneとやり取り／iTunesで音楽を聴く
写真やムービーを編集／オフィス文書を作成する
設定で使い勝手をアップ


マイナビ

Mac Fan BOOKS

iMac

マスターブック

OS X Yosemite対応版

松山茂・矢橋司 [著]



CONTENTS

iMac マスターブック
OS X Yosemite対応版

Chapter 1 覚えておきたい基礎知識

- 008 iMacのラインアップをチェック! [iMac]
- 010 OS X Yosemiteの新機能を押さえておこう [Yosemite]
- 012 便利になったiOSデバイスとの連携 [iOS]
- 014 iMacの各部名称と役割を理解する [各部名称]
- 016 iMacの購入前に注意したいこと [購入]
- 018 OS X Yosemiteにアップデートするには [アップデート]
- 020 iMac初回起動時に行うセットアップ [セットアップ]
- 028 起動・終了・スリープの方法を覚えておこう [起動／終了／スリープ]
- 030 マウスとトラックパッドの基本操作を覚えよう [マウスとトラックパッドの基本]
- 034 マウスとトラックパッドのより便利な操作をマスター [マウスとトラックパッドの応用]
- 036 キーボード上の特殊なキーを使いこなす [特殊キー]

Chapter 2 操作の基本をマスターする

- 040 Yosemiteのデスクトップ画面をチェックしよう [デスクトップ]
- 042 Finderウィンドウの基本操作を覚えよう [Finderウィンドウ]
- 046 Finderのタブを活用して表示を切り替える [Finderタブ]
- 048 Finderウィンドウを見やすい表示形式に変更 [表示形式]
- 050 クイックルックでさまざまなファイルの内容を閲覧 [クイックルック]
- 052 通知センターから重要なお知らせを受け取る [通知センター]

- 054 よく使うフォルダをサイドバーから開く [サイドバー]
- 056 ツールバーを活用して操作を素早く行おう [ツールバー]
- 058 メニューバーの基本操作を覚えておこう [メニューバー]
- 060 Finderメニューを使いこなしてファイル操作 [Finderメニュー]
- 062 Dockでアプリケーションを起動・切り替え [Dock]
- 066 スタックでフォルダの内容を確認できる [スタック]
- 068 Launchpadの一覧でアプリケーションを管理 [Launchpad]
- 070 アプリケーションの基本的な使い方 [アプリケーション]
- 074 フルスクリーンアプリを便利に使いこなすには [フルスクリーン]
- 076 文字入力時の設定を確認しておこう [文字入力の設定]
- 078 文字の入力を基本からマスターしよう [文字入力の基本]
- 084 文字の大きさや種類を変更する [フォントパネル]
- 086 音声で文字を入力するには [音声入力]
- 088 iCloudを活用して他の端末とデータ連携 [iCloud]
- 094 ファイルの保存方法を覚えておこう [保存]
- 096 iCloud Driveにデータを保存するには [iCloud Drive]
- 098 ファイルを開くさまざまな方法 [ファイルを開く]
- 100 新規フォルダを作ってファイルを整理 [新規フォルダ]
- 105 [Point] エイリアスを使いこなそう
- 106 Mac内のファイルを検索して探すには [Spotlight]
- 110 ファイルにタグを付けて管理するには [タグ]
- 112 共有ボタンでデータを手軽に送ろう [共有ボタン]
- 114 トラブルに遭遇しても困らないために [トラブルに備える]
- 116 不要なデータはゴミ箱に捨てる [ゴミ箱]

Chapter 3

インターネットを使いこなす

- 120 インターネットに接続するには [インターネット接続]

- 124 ネットワークの接続設定を使い分けるには [接続の切り替え]
- 126 Safariを使ってWebページを閲覧する [Safari]
- 128 複数のWebページを切り替えて表示する [タブブラウズ]
- 130 よく訪れるページはブックマークに登録しよう [ブックマーク]
- 136 過去に訪れたWebサイトの履歴を活用しよう [Top Sites]
- 138 Safariのツールバーを便利に使いこなす [ツールバー]
- 140 Webサイトに素早くアクセスするテクニック [入力支援]
- 142 Webサイトからファイルをダウンロード [ダウンロード]
- 144 閲覧中のWebページを共有するには [共有]
- 147 [Point]リーダー機能でWebページを見やすく表示
- 148 MacでiPhoneの電話着信を受けるには [電話]
- 150 メッセージで相手と気軽にやり取り [メッセージ]
- 152 メールアカウントに登録しておこう [メールアカウント]
- 154 メールを作成・送信するには [メール送信]
- 158 メールを受信するには [メール受信]
- 160 メールを返信・転送するには [返信／転送]
- 162 メールにファイルを添付して送りたい [添付ファイル]
- 166 メールをわかりやすく整理しよう [メール整理]
- 170 メールをより使いこなすテクニック [署名／迷惑メール／予定]
- 174 Facebookを使ってみよう [Facebook]
- 176 Twitterを使ってみよう [Twitter]
- 178 [Point]電話もできるFaceTime

Chapter 4 カスタマイズ&徹底活用

- 180 散らかった画面を一瞬で整理するには [Mission Control]
- 186 ホットコーナーから便利な機能を呼び出そう [ホットコーナー]
- 188 壁紙やスクリーンセーバを自分好みに変更する [デスクトップピクチャ／スクリーンセーバ]

- 190 画面の表示をカスタマイズしてみよう [画面の設定]
- 194 マイファイルやスマートフォルダでファイルを分類 [マイファイル/スマートフォルダ]
- 198 通知センターにウィジェットを登録する [通知センターウィジェット]
- 200 マウスやキーボードを使いやすくする設定 [マウス/キーボード]
- 204 サウンドやディスプレイの設定を行う [サウンド/ディスプレイ]
- 206 省電力のためのテクニック [省エネルギー]
- 208 複数のユーザでiMacを使いたい [複数ユーザ]
- 212 言語と地域の設定を確認しておく [言語と地域]
- 214 アップデートでシステムやソフトウェアを最新に保とう [アップデート]
- 216 セキュリティの設定をチェックする [セキュリティ]
- 218 ペアレンタルコントロールの設定を確認する [ペアレンタルコントロール]
- 220 Mac同士でファイルをやり取りするには [ファイル共有]
- 224 AirDropで手軽にファイル交換 [AirDrop]
- 226 ネットワークを介してハードウェアを共有 [共有サービス]
- 228 家族でソフトやコンテンツを共有したい [ファミリー共有]
- 230 プリンタを使って印刷するには [プリンタ]
- 234 外付けハードディスクを活用したい [ハードディスク]
- 236 Bluetoothでマウスやスピーカーをワイヤレス接続 [Bluetooth]
- 238 もう1台のディスプレイを追加して作業効率をアップ [マルチディスプレイ]
- 240 [Point] iMacでWindowsを使いたい

Chapter 5 アプリケーションを便利に使う

- 242 Macの標準アプリをチェックしておこう [標準アプリ]
- 244 App Storeで便利なアプリを入手したい [App Store]
- 250 カレンダーでスケジュールを管理する [カレンダー]
- 254 メモやリマインダーを他の端末と連携しよう [メモ/リマインダー]
- 256 連絡先でアドレスを管理する [連絡先]

- 260 テキストエディットで本格的な文書を作成 [\[テキストエディット\]](#)
- 262 辞書で調べものをするには [\[辞書\]](#)
- 264 プレビューで画像を閲覧しよう [\[プレビュー\]](#)
- 266 プレビューでPDFを閲覧しよう [\[PDF\]](#)
- 270 Macで動画を視聴するには [\[動画\]](#)
- 272 iTunesで音楽をより楽しもう [\[iTunes\]](#)
- 277 **[Point]** iTunesはiPhoneの管理に便利!
- 278 iTunes Storeで音楽を購入したい [\[iTunes Store\]](#)
- 280 iBooksで電子書籍を楽しみたい [\[iBooks\]](#)
- 282 iPhotoで手軽に画像を整理しよう [\[iPhoto\]](#)
- 286 iMovieでムービー編集にチャレンジ [\[iMovie\]](#)
- 290 GarageBandで気軽に作曲してみよう [\[GarageBand\]](#)
- 292 Pagesで文書を作成するには [\[Pages\]](#)
- 294 Numbersで表計算を行うには [\[Numbers\]](#)
- 296 Keynoteでプレゼン資料を作るには [\[Keynote\]](#)
- 298 Microsoft Officeを使いたい [\[Office\]](#)
- 300 **[Point]** Mac App Storeのおすすめアプリ

Appendix **トラブルシューティング**

- 302 バージョン機能でファイルの内容を元に戻す [\[バージョン\]](#)
- 304 Time MachineでMacのデータをバックアップ [\[Time Machine\]](#)
- 308 OS X Yosemiteのトラブルを解消 [\[トラブル解消\]](#)
- 310 iMacが起動しないときの対処法 [\[起動不可\]](#)
- 314 OS X Yosemiteを再インストールするには [\[再インストール\]](#)

- 316 索引

Chapter 1

覚えておきたい基礎知識

本書は「iMac」に「OS X Yosemite」を搭載した構成で解説します。iMacはスリムなデザインが特徴のデスクトップPCで、ディスプレイサイズは21.5インチと27インチが用意されており、27インチのモデルでは高解像度な「iMac Retina 5Kディスプレイモデル」が選べます。そんなiMacを活用するうえで、まずは基本的なスペック、OSの特徴、インターフェイスの構成を理解しておきましょう。マウス（トラックパッド）とキーボードの使い方や、初回起動時に現れるセットアップ画面についても解説したので、安心してiMacライフをスタートできるはずです。

Chapter 1 [iMac]

iMacのラインアップを
チェック!

NEW

UP

デスクトップタイプのMacの中で一番人気のあるモデルが「iMac (アイマック)」です。ここではiMacのラインアップとハードウェアの特徴をチェックしていきましょう。

基本



応用

趣味



実用

▶ iMacはデスクトップタイプの中心モデル

iMacはアップルが販売しているMacの中で、デスクトップPCの中核となるシリーズです。ディスプレイのサイズ・種類によって、21.5インチ、27インチ、Retina 5Kディスプレイを搭載した27インチの3タイプが用意されています。21.5インチと27インチモデルのディスプレイにはLEDバックライトを採用したIPSテクノロジーのものを搭載していますが、Retina 5Kディスプレイモデルは驚異的な解像度(5,120×2,880ピクセル)の5Kディスプレイを採用しているのが特徴です。

さらにプロセッサの違いによって、21.5インチは3機種、27インチは2機種、Retina 5Kディスプレイは1機種あり、iMacは計6種類のモデルから選べるというわけです。

モデルによって、グラフィックスプロセッサやハードディスクの容量も異なっています。各種ポートの数は共通ですが、21.5インチと27インチモデルが

Thunderboltなのに対し、Retina 5Kディスプレイモデルは2倍速いThunderbolt 2という違いがあります。ワイヤレス接続に関しては、全モデルで802.11ac対応のWi-FiとBluetooth 4.0が利用できます。

スピーカーやマイク、FaceTimeのビデオ通話などに使うHD画質のカメラを内蔵する一方、CDやDVDディスクを読み書きするための光学式ドライブは搭載していないので、必要に応じてUSB接続の外付けドライブを用意しましょう。

キーボードとマウスはBluetoothで接続するワイヤレスタイプのもので標準で付属しますが、オプションでマウスをトラックパッドに変更することもできます。

iMacはコンシューマを対象としたモデルとして位置付けられていますが、上位モデルやRetina 5Kディスプレイモデルなら十分にプロユースまでカバーできます。初心者だけでなくクリエイティブな仕事をしているユーザにもおすすめです。



21.5インチ iMac (Late 2014)



27インチ iMac (Late 2014)

27インチ iMac Retina 5K
ディスプレイモデル (Late 2014)

▶ iMacシリーズのスペックをチェック

ここではiMacの細かなスペックを表にまとめました (内容は2014年12月時点のものです)。プロセッサ、メモリ、ストレージについては、注文時にカスタマイズオプションで変更することができます。

		21.5インチiMac			27インチiMac	
ディスプレイ	サイズ	21.5インチ (対角)			27インチ (対角)	
	解像度	1,920×1,080ピクセル			2,560×1,440ピクセル	
プロセッサ		1.4GHz デュアルコア Intel Core i5	2.7GHz クアッドコア Intel Core i5	2.9GHz クアッドコア Intel Core i5	3.2GHz クアッドコア Intel Core i5	3.4GHz クアッドコア Intel Core i5
メモリ		8GB (1,600MHz LPDDR3)	8GB (4GB×2, 1,600MHz DDR3)		8GB (4GB×2, 1,600MHz DDR3) ※	
ハードディスク		500GB (5,400rpm)	1TB (5,400rpm)		1TB (7,200rpm)	
サイズと重量	高さ	45.0cm			51.6cm	
	幅	52.8cm			65.0cm	
	奥行き	17.5cm (スタンド)			20.3cm (スタンド)	
	重量	5.68kg			9.54kg	
グラフィックス		Intel HD Graphics 5000	Intel Iris Pro Graphics	NVIDIA GeForce GT 750M (1GB GDDR5メモリ搭載)	NVIDIA GeForce GT 755M (1GB GDDR5メモリ搭載)	NVIDIA GeForce GTX 775M (2GB GDDR5メモリ搭載)
カメラ		FaceTime HDカメラ				
各種ポート		USB 3ポート×4、Thunderboltポート×2、LANポート、ヘッドフォン/光デジタルオーディオ出力ポート (ミニジャック)				
カードスロット		SDXCカードスロット				
LAN		10/100/1000BASE-T (RJ-45コネクタ)				
Wi-Fi		IEEE 802.11ac (a/b/g/n対応)				
Bluetooth		Bluetooth 4.0				
スピーカー		ステレオスピーカー				
マイク		デュアルマイクروفオン				

		iMac Retina 5Kディスプレイモデル	
ディスプレイ	サイズ	27インチ (対角) Retinaディスプレイ	
	解像度	5,120×2,880ピクセル	
プロセッサ		3.5GHz クアッドコア Intel Core i5	
メモリ		8GB (4GB×2, 1,600MHz DDR3) ※	
ストレージ		1TB Fusion Drive	
サイズと重量	高さ	51.6cm	
	幅	65.0cm	
	奥行き	20.3cm (スタンド)	
	重量	9.54kg	
グラフィックス		AMD Radeon R9 M290X (2GB GDDR5メモリ搭載)	
カメラ		FaceTime HDカメラ	
各種ポート		USB 3ポート×4、Thunderbolt 2ポート×2、LANポート、ヘッドフォン/光デジタルオーディオ出力ポート (ミニジャック)	
カードスロット		SDXCカードスロット	
LAN		10/100/1000BASE-T (RJ-45コネクタ)	
Wi-Fi		IEEE 802.11ac (a/b/g/n対応)	
Bluetooth		Bluetooth 4.0	
スピーカー		ステレオスピーカー	
マイク		デュアルマイクروفオン	

※ ユーザーがアクセスできるSO-DIMMスロット×4

Chapter 1 [Yosemite]

OS X Yosemiteの 新機能を押さえておこう

NEW

UP

現行のiMacには最新のOS X Yosemiteが搭載されています。iPhoneやiPadでおなじみのアプリが使えたり、iOSデバイスとの連携も向上しています。ここではそうした新機能を解説しましょう。

基本

応用

趣味

実用

▶ OS Xとは？

Macには他のPCと異なるアップル独自のオペレーティング・システム(OS)が搭載されています。それが「OS X (オーエス テン)」です。他のOSと同様、OS Xもバージョンアップを重ねながら進化し続け、2014年11月現在での最新版は「OS X 10.10」になりました。このOS Xには各バージョンごと名前が付いていて、最新の10.10は「Yosemite (ヨセミテ)」という名称で呼ばれています。

OS X以外のOSといえば、マイクロソフトのWindowsが有名です。基本ソフトのOSが異なれば、画面の表示や操作方法、動作するアプリケーションも違ってきます。そのため、Mac用のソフトはWindowsを搭載したPCでは動きません。逆も同じで、基本的に

Windows用のソフトはOS X上で動作しません。とはいえマイクロソフトの「Microsoft Office」やアドビシステムズの「Adobe Creative Cloud」のような主要ソフトは、Mac版とWindows版の両方が販売されています。そのためWindowsからの乗り換えを検討しているユーザでも安心してMacを利用できます。

また、Macには「Boot Camp (ブートキャンプ)」という機能が用意されており、Mac上にWindowsをインストールして使うことも可能です。本体内蔵のストレージをパーティションで2つに分け、一方にOS X、もう一方にWindowsをインストールすれば、OS XとWindowsどちらも起動可能なMacを実現できます。



▶ OS X Yosemiteの主な新機能

ここではOS X Yosemiteの主な新機能をチェックし、アプリケーションにも新機能が追加されており、よりブラッシュアップされています。

	Finder	デザインがよりシンプルになりました。ウインドウの角にある赤と黄色と緑のボタンが、今までの[閉じる][しまう][最大化]から[閉じる][しまう][フルスクリーン]に変わっています。また、iCloud Driveにあらゆる種類のファイルを保管できるようになりました。
	通知センター	フルスクリーン表示でも通知センターが表示できるようになりました。[今日]表示を見れば、今日これからのイベント、リマインダー、誕生日をまとめてチェックできます。今日のカレンダーや天気予報、最新の株価、複数のタイムゾーンの時刻、リマインダー、計算機を表示できる便利なウィジェットも付いています。
	Spotlight	従来から搭載されている検索機能ですが、WikipediaやBing、iTunesなどが検索の対象に含まれました。デザインも一新され、開いたときにスクリーン中央の前面に表示されるようになっています。
	メール	添付されている画像やPDFファイルに素早く注釈を加えられるマークアップ機能が追加されています。また、サイズの大きな添付ファイルを送信可能なMail Drop機能もサポートされ、1回の送信ごとに最大5GBまで送れるようになりました。
	Safari	ブラウザソフトにシンプルなツールバーと新しいタブビューが加わりました。動作速度がアップしたほか、省電力性が向上し、ChromeやFirefoxといったブラウザと比べて最大2時間長くWebブラウジングを楽しめます。
	メッセージ	iOSデバイスと連携して、iMessageだけでなくSMSのテキストメッセージもやり取りできるようになりました。
	FaceTime	iPhoneにかかってきた電話をMacで受けられるようになりました。連絡先やカレンダー、メッセージ、Spotlight、Safariに表示される電話番号をクリックするだけで電話をかけられます。
	Handoff	近くにあるMacとiOSデバイス同士が連携し、一方のデバイスで行っている作業をもう一方のデバイスに自動的に引き継げるようになりました。メールやSafari、Pages、Numbers、Keynote、マップ、メッセージ、リマインダー、カレンダー、連絡先といったアプリが対応しています。
	Instant Hotspot	MacとiPhoneが近くにあれば、Mac上のWi-FiメニューからiPhoneを選ぶだけで、すぐにインターネット共有が利用できるようになりました。
	AirDrop	MacとiOSデバイスの間でもAirDropが使えるようになり、手軽にデータをやり取りできます。
	ファミリー共有	iTunes StoreやApp Store、iBooks Storeから購入したコンテンツを最大6人まで共有できるようになりました。

Chapter 1 [iOS]

便利になった
iOSデバイスとの連携

NEW

UP

OS X Yosemiteを搭載したiMacと、iPhoneなどのiOS 8デバイスでは、今までにない連携が行えます。具体的な使い方についてはあとで解説しますが、ここではその概要を確認しましょう。

基本

応用

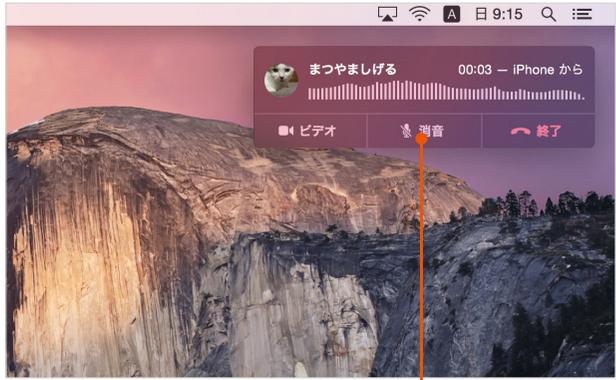
趣味

実用

1

電話の着信を受けられる

iPhoneにかかってきた電話をiMacで受けたり、iMacからiPhoneを経由して電話をかけたりできます。バッグやポケットにiPhoneが入っていても取り出す必要はありません。iMacで通話できます。



Macで電話の着信を受けられます

2

SMSのやり取りを確認

SMSのテキストメッセージをiMacでやり取りできます。iPhoneやiPadに送信されてきたSMSをiMacでも確認することが可能です。



iPhoneでのやり取りです

MacでSMSのやり取りを確認できます

3

Handoffで作業を引き継ぐ

Handoff機能により、iMacで作業している内容をiPhoneやiPadと連携できます。例えばOS Xで作業している内容をiOSデバイスのロック画面や、アプリ切り替え画面から引き継ぐことが可能です(その逆も可能です)。

Point Handoff対応ソフト

HandoffはSafari、メール、メッセージ、連絡先、カレンダー、マップ、メモ、リマインダー、Pages、Numbers、Keynoteに対応しています。



4

Instant Hotspotで連携

Wi-Fi有線LANが使えない場所でも、iMacのWi-FiメニューからiPhoneを選ぶだけでインターネットにアクセスできます。今までのようにiPhoneのインターネット共有をオンにしておかなくても、手軽にテザリングが利用できます。



簡単にiPhoneに接続してテザリングできます

5

AirDropで連携

これまでMac同士、iOSデバイス同士でしか利用できなかったAirDropが、MacとiOSデバイス間でも使えるようになりました。写真やデータなどが簡単にiMacとiOSデバイス間で受け渡すことができます。



AirDropでiPhoneとやり取りできます

Chapter 1 [各部名称]

iMacの各部名称と役割を理解する

NEW

UP

ディスプレイと一体化したiMacのデザインは、他のPCにはない美しさです。背面にはボタンや差し込み口のような穴が並んでいます。ここではiMacの各部を詳しく解説していきます。

基本

応用

趣味

実用

▶ iMac 一正面一

iMacの本体は、スタンドが接続されている中央部が厚く、周囲に向かうほど薄くなっています。この中に、ディ

スプレイやプロセッサ、メモリ、ハードディスクをはじめとする必要なパーツがすべて収められています。

FaceTime HDカメラ

FaceTimeのビデオ通話などに利用できるカメラです。カメラの右側には動作時に点灯するインジケータランプが、左側には周囲の明るさを検知する環境光センサーが並んでいます。

左側面

正面

右側面



ディスプレイ

21.5インチもしくは27インチのLED液晶パネルを使用したディスプレイです。IPS (In-Plane Switching) テクノロジーとLEDバックライトにより、どの角度から見ても豊かな色と鮮やかさを再現します。Retina 5Kディスプレイモデルは、1,470万ピクセルという驚異的な解像度を持つ27インチのRetina 5Kディスプレイを搭載しています。

吸気口&ステレオスピーカー

本体に内蔵されたファンを使って、ここから吸い込んだ空気ですべてiMacの内部を冷やします。左右の一番端にはスピーカーが搭載されていて、その開口部にもなっています。

▶ iMac 一側面

iMacは背面のデザインが美しくまとまっています。正面から見て左下裏にはパワーボタンが、右下側には各種ポート類が配置されています。USBポート×4、

Thunderboltポート×2、LAN (Ethernet) ポート、SDカードスロットなどが利用できます。

デュアルマイクロフォン

上部にはFaceTimeのビデオ通話などに使うマイクが用意されています。2つのマイクが連携して、周囲の不要な音を取り除いてくれます。

背面

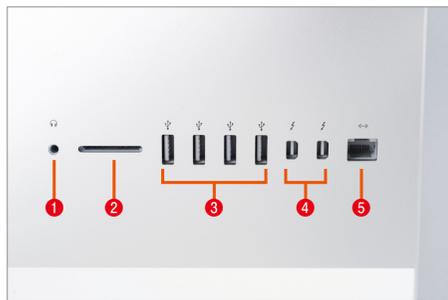


電源プラグ

電源コードをここに差し込みます。電源コードの上にあるスリットは、吸気口から入った空気を出す排気口です。27インチモデルの場合、電源プラグと排気口の間にメモリスロットにアクセスできるコンパートメントドアがあります。

パワーボタン

iMacの電源を入れて起動する際に押すボタンです。電源オンの状態で押すとiMacがスリープ状態になり、スリープ状態で押すとスリープから復帰します。また、電源オン状態のときに5秒以上押し続けると、iMacをリセットできます。



① ヘッドフォン／光デジタルオーディオ出力ポート

ヘッドフォンやアンプ内蔵スピーカー、デジタルオーディオ機器を接続するときに使います。このポートはS/PDIFステレオ3.5ミニジャックを兼ねています。

② SDXCカードスロット

主にデジタルカメラの記憶メモリとして用いられるSDカードを読み書きするときに使います。カードはスロット内に完全に収まらず、飛び出た状態になります。

③ USB 3.0ポート

iPhoneやiPad、iPodをはじめ、プリンタやディスクドライブなどUSB機器を接続するときに使います。USB 3.0/2.0/1.1に対応します。

④ Thunderbolt / Thunderbolt 2ポート

Thunderbolt対応の機器を接続してデータを高速転送する際に使用します。Retina 5Kディスプレイモデルには20Gb/sのThunderbolt 2が搭載されています。そのほか、Mini DisplayPortを搭載した外部ディスプレイを接続する際にも使います。別売りのアダプタを使用すればVGAやDVI、HDMIに対応したディスプレイも接続できます。

⑤ Ethernetポート

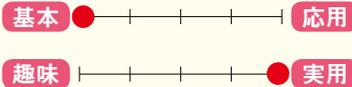
10/100/1000BASE-T対応の高速Ethernetポートで、他のPCとネットワークを組んだり、DSLモデムやケーブル／モデムの接続、インターネットへのアクセスに使います。

Chapter 1 [購入]

iMacの購入前に
注意したいこと

NEW UP

iMacを購入する際は、6つあるうちの機種を選ぶだけでなく、メモリやハードディスクの種類・サイズを決めておきましょう。基本的に27インチモデルのメモリ以外は自分で交換できません。



▶ iMacのメモリについて知っておく

1 21.5インチモデルの場合

6つあるiMac基本モデルはすべて標準で8GBのメモリを搭載しており、21.5インチモデルなら8GBを増設して16GBに変更できます。ただし購入後にメモリを増設したい場合は、Apple Store（直営店）もしくはApple正規サービスプロバイダに依頼してください。



iMac購入時はメモリやディスクなどの種類やサイズを確認しましょう

2 27インチモデルの場合

27インチモデル (Retina 5K ディスプレイモデルを含む) の場合は背面の電源プラグの上にあるボタンをベンヤドライバで押すと、コンパートメントドアが外れて①、4つのメモリスロットにアクセスできます②。標準で4GBのメモリモジュールが2枚装着されています。

Point 搭載するメモリの規格は？

iMacが搭載するメモリモジュールは「PC3-12800 (1,600MHz) DDR3 SDRAM」という仕様のSO-DIMMです。



▶ 光学式ドライブは非搭載

1 光学式ドライブは外付けを利用

光学式ドライブは、iMac (Late 2012モデル) から搭載されなくなりました。ただしUSB接続の外付け光学式ドライブを接続すれば、従来のようにCDやDVDを扱えます。アップルからは「Apple USB SuperDrive」というDVD/CD書き込み対応のドライブが販売されています。



▶ マウスかトラックパッドを選択できる

1 価格は変わらず変更可能

iMacにはワイヤレスのマウス「Magic Mouse」が付属しますが、「Magic Trackpad」というトラックパッドに変更することもできます。価格は同じなので、好みのデバイスを選ぶといいでしょう。



Point iMacで選べるハードディスク・Fusion Drive・フラッシュストレージ

iMacには500GBもしくは1TBのストレージが内蔵されていますが、モデルによって種類は異なります。21.5インチもしくは27インチモデルが搭載しているのは、一般的なハードディスクです。21.5インチの最下位モデルはオプションで1TBのハードディスクか1TBのFusion Drive、もしくは256GBのフラッシュストレージ(SSD)に変更できます。その他の21.5インチモデルは、1TBのFusion Driveか、256GBまたは512GBのフラッシュストレージ(SSD)に変更可能です。27インチモデルの場合は、3TBのハードディスクか、1TBまたは3TBのFusion Drive、256GB/512GB/1TBのフラッシュストレージ(SSD)が選べます。

一方、Retina 5Kディスプレイモデルは1TBのFusion Driveが標準搭載です。オプションで3TBのFusion Drive、または256GB/512GB/1TBのフラッシュストレージ(SSD)に変更できます。

Fusion Driveとは、従来のハードディスクとフラッシュストレージを組み合わせたものです。OSやよく使うソフト、書類などをフラッシュストレージに保存するので、システムやソフトの起動時間を短縮できるという利点があります。なお、現行のiMacは本体を分解しないと内部のストレージにアクセスできない構造のため、ユーザ自身の手で換装したり増設できません。標準以外のストレージを選択したい場合は、注文時にオプション指定しましょう。

Chapter 1 [アップデート]

OS X Yosemiteに
アップデートするには

NEW UP

使用しているiMacのバージョンが、まだOS X 10.6.8 ~ 10.9と古いままなら、これを機会にYosemiteにアップデートしてはいかがでしょうか。Yosemiteなら無料でインストールできます。

基本 ———●——— 応用
趣味 ———●——— 実用

▶ App StoreからYosemiteをダウンロードする

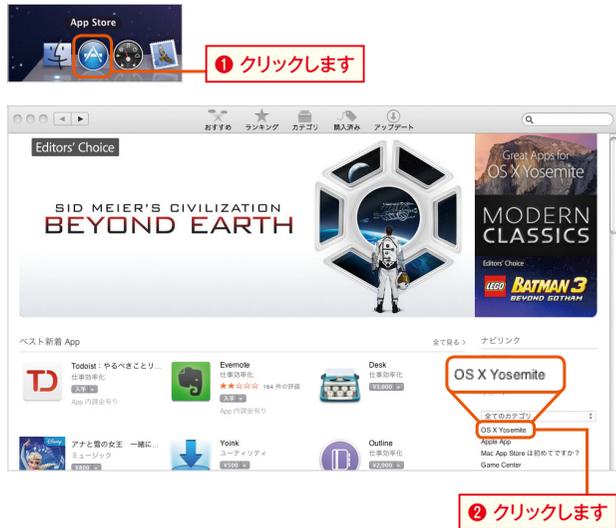
1

App Storeにアクセス

Dock上にある [App Store] のアイコンをクリックすると①、App Storeの画面が開きます。[OS X Yosemite] をクリックするかウィンドウ右上の検索ボックスを使ってOS X Yosemiteのダウンロード画面を表示しましょう②。

**Point Yosemiteを
導入可能なモデル**

Snow Leopard (10.6.8) 以降のOS XがインストールしてあるiMac (Mid 2007以降) なら、OS X Yosemiteをインストールできます。メモリは2GB以上搭載している必要があります。



2

OS X Yosemiteを
ダウンロード

OS X Yosemiteのダウンロード画面では、[入手] ボタンをクリックします③。ダウンロードの際には、Apple IDとパスワードが必要です。手続きが終了すると、OS X Yosemiteがダウンロードされます。完了するまでしばらく待ちましょう。



▶ Yosemiteをインストールする

1

インストールを開始する

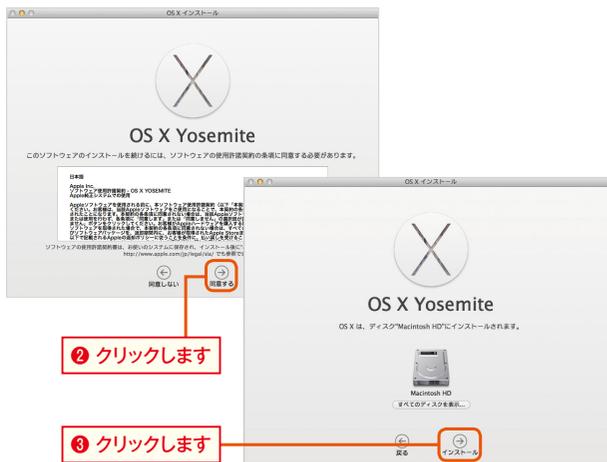
ダウンロードが完了すると、自動的にOS Xのインストーラが起動します。インストールを開始するために[続ける]ボタンをクリックします①。



2

使用許諾契約に同意

ソフトウェアの使用許諾契約の条項が表示されるので一読し、[同意する]ボタンをクリックします②。インストール画面が表示されたら[インストール]ボタンをクリックしましょう③。



3

インストール完了

インストールが完了すると自動的にiMacが再起動します。ログイン画面が表示されるのでパスワードを入力して、画面のメッセージに従って進めていくとYosemiteのデスクトップ画面が表示されます④。これまでiMacにインストールしたソフトやユーザが作成した書類などはそのまま引き継がれます。

④ OS X Yosemiteが起動しました



Chapter 1 [セットアップ]

iMac初回起動時に
行うセットアップ

NEW UP

iMacをはじめて起動するとセットアップの画面が表示され、国や地域を選択したり、Wi-Fi接続の設定を行ったりします。その際はApple IDも作成・登録しておきましょう。

基本 ● ————— ● 応用
趣味 ————— ● 実用

▶ iMacを起動しよう

1 電源コードをつなぐ

iMacに電源コードを挿し込み、反対側をコンセントに挿し込みます①。

Point インターネット接続の準備を行っておこう

セットアップ後にオンラインでユーザー登録が行われるので、既にインターネットプロバイダの契約が済んでいる人は接続の準備をしておきましょう。



① スタンドの穴に電源ケーブルを通し、電源プラグにしっかりと差し込みます

2 iMacを起動する

電源コードをつなぎ終わったら、iMacを起動しましょう。正面から見て左側の背面にあるパワーボタンを押します②。すると「ボン」という起動音が鳴り、システムの起動が始まります。次に、付属のマウスとキーボードの電源を入れます③④。



② パワーボタンは背面にあります



③ スイッチを上にはスライドすると、その上にある緑色のLEDが点灯します



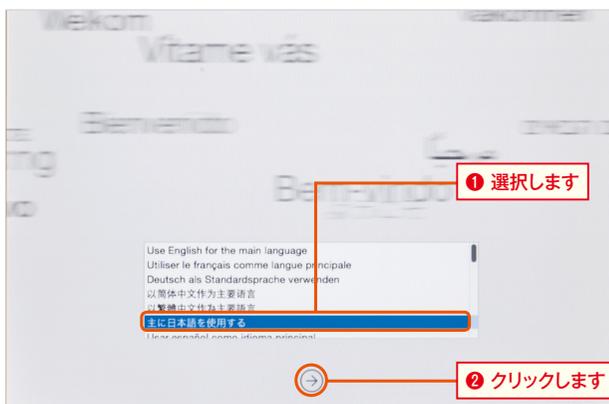
④ 押すとキーボードの電源が入ります

▶ セットアップ画面が表示されたら設定開始

1

セットアップを開始する

はじめてMacを起動した際は、OS X Yosemiteのセットアップが開始されます。いろいろな国の言葉でウェルカムメッセージが流れるオープニング画面が表示されたら、リストボックスの中から[主に日本語を使用する]を選んで①、その下にある右向きの矢印ボタンをクリックします②。



2

国や地域を選択する

Macを使用する国や地域の確認画面に切り替わります③。画面の指示に従って選択しましょう。選択したら、下にある[続ける]ボタンをクリックします④。



Point

「VoiceOver クイックスタート」の説明を見る

画面に表示された項目の説明を音声で読みあげる「VoiceOver (ボイスオーバー)」機能を使えば、キーボードだけでMacを操作できます。[ようこそ]と表示された国や地域の選択画面で[esc] (エスケープ) キーを押すと、ボイスオーバーの使い方を紹介してくれる「VoiceOver クイックスタート」に切り替わります。

このクイックスタートでは、ボイスオーバー機能をオンにする操作方法から、キーボード上にある重要なキーの説明、矢印キーを使ったカーソルの動かし方などを説明してくれ、実際にその場で練習もできます。

VoiceOver クイックスタート

VoiceOver は画面上の項目の説明を読み上げるため、キーボードだけを使ってコンピュータを制御できます。

このクイックスタートでは、キーボードの重要なキーの位置と重要な VoiceOver コマンドについて説明します。

クイックスタートのパネルに進むには、矢印キーを使います。矢印キーは、メインキーボードのキーの右側、またはポータブルコンピュータのキーボードの右下隅に、逆 T 字型に配列されています。

続けて次のパネルに進むには、右矢印キーを押します。Escape キーを押すと、いつでも終了して Mac の設定を続けることができます。

3

キーボード入力環境を選択する

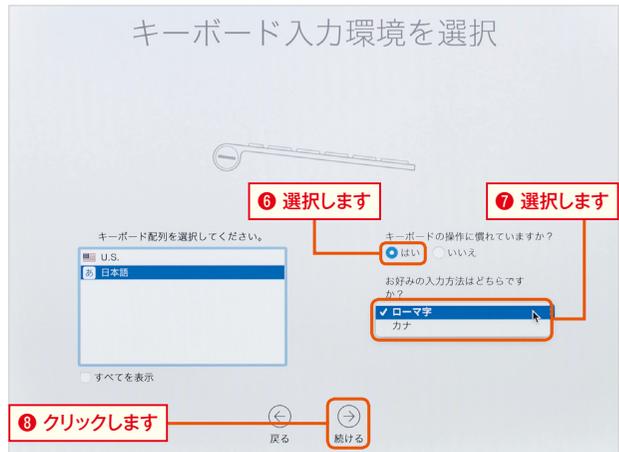
「キーボード入力環境を選択」という画面が現れます。キーボード配列の選択として[U.S.] [日本語]の2つが表示されるので[日本語]を選びましょう⑤。



4

入力方法を確認する

「キーボードの操作に慣れていますか?」では[はい]をクリックします⑥。さらに[ローマ字]入力か[カナ]入力のどちらかを選択して⑦、[続ける]ボタンをクリックしましょう⑧。



▶ インターネットに接続するための設定

1

Wi-Fiに接続する

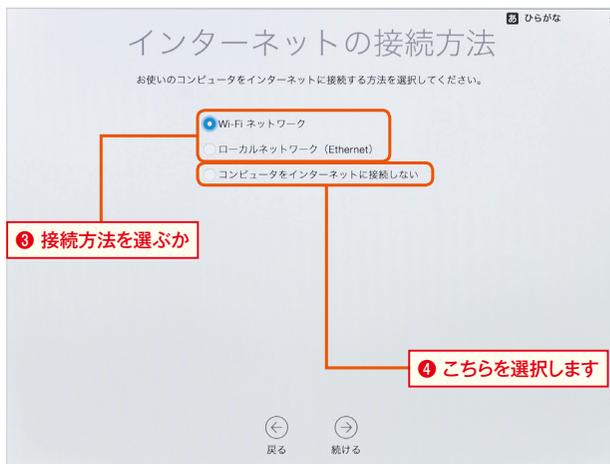
続いて「Wi-Fiネットワークを選択」という画面が表示されます。無線でインターネットに接続したい場合は、中央のリストボックスからWi-Fi（無線LAN）ネットワークの名前を選択して、必要に応じてパスワードを入力したあと①、[続ける]ボタンをクリックします②。



2

その他の方法で接続する

Wi-Fi以外の方法でインターネットに接続したい場合は、手順1の画面で[その他のネットワークオプション]をクリックしましょう。「インターネットの接続方法」画面に切り替わるので、接続方法を選びます**③**。まだインターネットへの接続環境が準備できていない場合は[コンピュータをインターネットに接続しない]を選択し**④**、P.27を参照してください。



3

データを転送する

「このMacに情報を転送」画面に切り替わります。別のMacやWindows PCからデータを引き継ぐ必要がない場合は[今は情報を転送しない]を選んで**⑤**、[続ける]ボタンをクリックします**⑥**。



「このMacに情報を転送」画面でデータを移行する場合は？

Macを購入した際、それまで使っていたMac (Mac OS X v10.4.11以降) やWindows PC (Windows XP SP3以降) から、ミュージック、ピクチャ、デスクトップなどにある書類、メール、連絡先、カレンダーといったデータを移行できます。その際は、ThunderboltまたはLAN経由でデータを転送する方法や、以前のMacで使用していたTime Machineバックアップディスクからデータを取り込む方法があります。ちなみに、MacやWindows PCからデータを移行するには、相手側に「移行アシスタント」がインストールされている必要があります。



▶ アカウントを設定しよう

1 Apple IDでiCloudにサインインする

「Apple IDでサインイン」という画面が表示されるので、既にApple IDを取得している人は、自分のApple IDとパスワードを入力して①、[続ける] ボタンをクリックします②。するとMacの位置情報

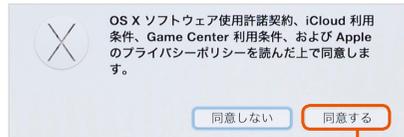
を「Macを探す」で使用してよいか聞かれるので[許可] ボタンをクリックしましょう③。Apple IDを持っていないユーザは[Apple IDを新規作成]をクリックしてください。



2 利用規約に同意する

「利用規約」の画面に切り替わります。ここではOS X Yosemiteなどを使用するための規約が書かれています。ひと通り目を通して[同意する]をクリック

します④。確認のメッセージが表示されるので[同意する]ボタンをクリックしましょう⑤。



3 アカウントを作成する

「コンピュータアカウントを作成」画面が表示されるので、必要ならアカウント名を書き替えて[続ける] ボタンをクリックします⑥。



4

FileVault ディスク暗号化

FileVaultを使ってMacのディスクを暗号化するかどうかを設定します。ここではチェックを2つとも外して暗号化を無効にして⑦、[続ける] ボタンをクリックしましょう⑧。

Point FileVaultとは？

FileVaultは、セキュリティのためMacのストレージドライブ内を暗号化する技術ですが、アプリケーションによってはFileVaultがオンだと不具合が発生する場合があります。あとからでも有効にできるので、使用するソフトがFileVaultに対応しているか確認しておきましょう。



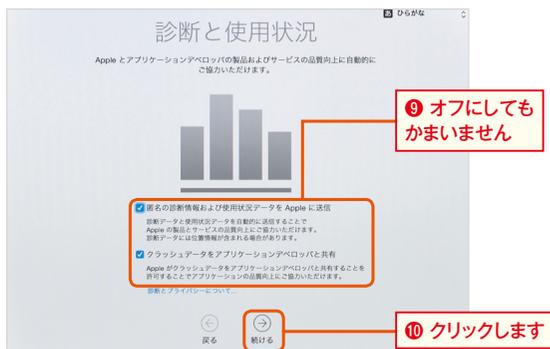
⑦ オフにします

⑧ クリックします

5

診断と使用状況の設定

「診断と使用状況」画面が表示され、匿名で診断情報や使用状況をアップルに送信するかどうか指定できます。送信したくない場合はチェックを外してから⑨、[続ける] ボタンをクリックしましょう⑩。

⑨ オフにしても
かまいません

⑩ クリックします

6

セットアップ完了

これでセットアップは完了です。「Mac を設定中」という画面を経て、OS X Yosemiteのデスクトップ画面が表示されます。



Point Apple IDとは？

Apple IDはアップルが提供するいろいろなサービスで利用可能なユーザIDです。Apple IDがなくてもiMacは使えますが、OS Xのアップグレードやコンテンツの購入など、さまざまなシーンで求められるので、必ず作っておきましょう。Apple IDにはメールアドレスを使うのが

一般的です。メールアドレス以外にもApple IDとして登録できますが、アップルが提供しているクラウドサービスの「iCloud (アイクラウド)」を利用するには、アップルIDとして使われている有効なメールアドレスが必要になります。

Point ヘルプで Yosemite の新機能をチェック

Macには取扱説明書が付属していないので、ヘルプ機能を活用しましょう。どんなアプリケーションを使っているか必ずメニューの一番右端には[ヘルプ]メニューがあり、ここから参照できます。[ヘルプ]メニュー内の検索ボックスで、知りたい内容を検索することもできます。Finderの画面ではMac全般に関すること、メールの画面ではメールソフトに関する内容といったように、ヘルプには使用中のアプリケーションに沿った内容が表示され

ます。Finderのヘルプメニューには①、Mac全般に関するヘルプ項目のほか、OS X Yosemiteの新機能を紹介するヘルプ項目が用意されています②。選択するとブラウザ(Safari)が起動して、OS X Yosemiteの新機能がチェックできます③。青い文字の部分をクリックすると、より詳細な内容が表示されるので、Yosemiteでどんなことができるのかチェックしてみましょう。



① クリックします

② 選択します



③ OS X Yosemite の新機能を確認します

Point セットアップが済んだらシステムのアップデートを確認

Macのセットアップが済んだら「App Store」を開いて「アップデート」を行い、OS X Yosemiteや付属のソフトウェアを最新版に更新しておきましょう。その際はインターネットを介して行います。

手順は、左上のアップルメニューから①、「App Store」を選ぶか②、Dockで「App Store」をクリックします。App Storeの画面が開いたら「アップデート」をクリック

します③。ソフトウェア・アップデート項目が表示された場合は④、「アップデート」もしくは「すべてをアップデート」をクリックします⑤。このソフトウェア・アップデートは、単なる機能追加のバージョンアップだけでなく、システムや標準ソフトの不具合を解消したり、セキュリティ上の脆弱性を改善したりできるので、必ず定期的に行いましょう。



② 選択します



④ ソフトウェア・アップデートです

⑤ クリックしてアップデートします

▶ インターネットへの接続を行わなかった場合

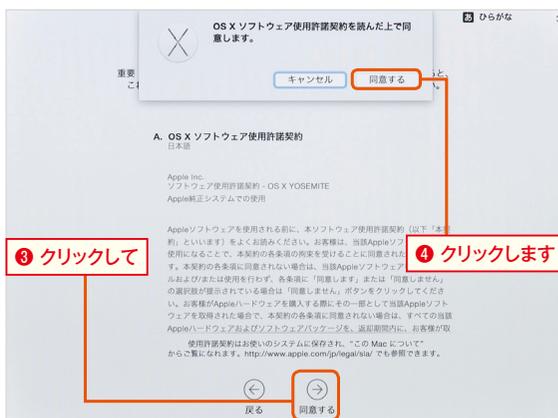
1 データを転送する

P.23の手順2で[コンピュータをインターネットに接続しない]を選択した場合は「このMacに情報を転送」画面に移ります。別のMacやWindows PCからデータを引き継がない場合は[今は転送しない]を選んで①、[続ける]ボタンをクリックしましょう②。



2 利用規約に同意する

「利用規約」の画面に切り替わります。ここにはOS X Yosemiteを使用するための規約が書かれています。目を通したら[同意する]をクリックします③。確認のメッセージが表示されるので[同意する]ボタンをクリックしましょう④。



3 アカウントを作成する

次に「コンピュータアカウントを作成」画面に切り替わります。[フルネーム] [アカウント名] [パスワード] などを入力してください⑤。このアカウント名やパスワードは、OS Xのアップデートやアプリケーションのインストールなどで必要となります。パスワードを思い出す手がかりを[ヒント]に入れたら[続ける]ボタンをクリックします⑥。

Point 以降の手順は？

アカウント作成以降の手順は、P.25の手順4と同じです。



Chapter 1 [起動／終了／スリープ]

起動・終了・スリープの方法を覚えておこう

NEW

UP

ここではあらためて、iMacの電源をオン／オフする方法を紹介しましょう。iMacには電源を入れるためのボタンが用意されていますが、電源を切るには画面のメニューを使用します。

基本

応用

趣味

実用

▶ iMacの電源を入れる

1 電源を入れる

iMacの電源を入れるには背面にあるパワーボタンを押します①。「ジャーン」という音がしたあとに画面が変わり、ログイン画面が表示されます。

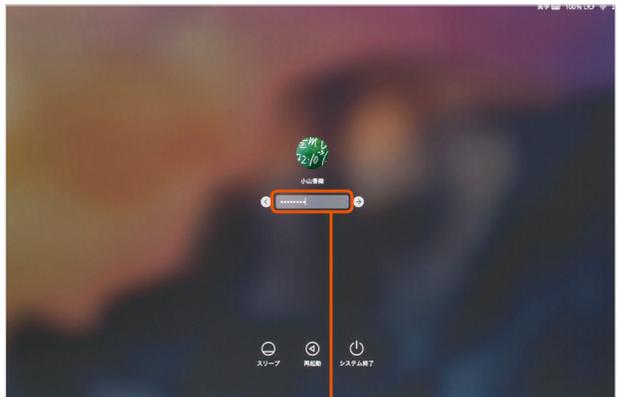


2 ユーザを選んでログインする

ログイン画面が表示されたら、アカウント作成時に設定したパスワードを入力して②、[return]キーを押すか、パスワード入力欄の右端に表示されている[→]ボタンをクリックします。しばらくするとデスクトップ画面が表示されて、iMacが使える状態になります。

Point 起動する

iMacの電源を入れて使える状態にすることを「起動する」といいます。



▶ iMacの電源を切る／スリープする

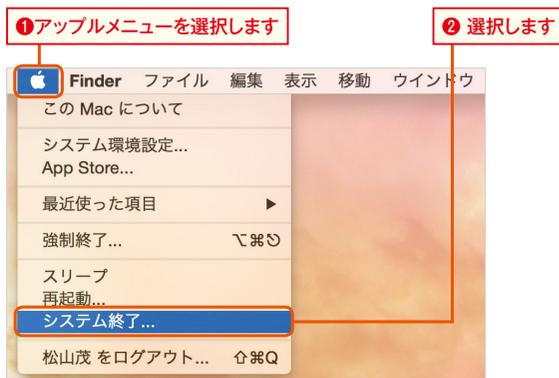
1

電源を切る

iMacの電源を切るには、デスクトップ画面にあるアップルメニューから①、[システム終了]を選択し②、[システム終了]ボタンをクリックします③。なお、iMacの電源を切ることを「終了する」ともいいます。

Point パワーボタンの長押しで終了

Macの起動中にパワーボタンを押すとスリープに切り替わります。ダイアログを表示したい場合はパワーボタンを長押ししましょう。



2

スリープする

iMacをスリープ状態にするには、アップルメニューから[スリープ]を選択してください④。パワーボタンを押してもスリープにできます。

Point スリープとは

「スリープ」とはiMacを待機状態にしておくことです。スリープ状態では少量の電流が流れ、使用中のiMacの環境を保持できます。電源を切った状態から起動するよりも短い時間でiMacを利用開始できます。



Point スタンバイモードについて

フラッシュストレージ(SSD)やFusion Driveを搭載したiMacでは、通常のスリープ状態が1～3時間継続すると、より消費電力の少ないスタンバイモードに入ります。その際は右の条件を満たしている必要があります。スタンバイ中にいずれかのキーを押したりマウスやトラックパッドをクリックするとスタンバイモードが解除されて元の状態に戻ります。

- ・USBデバイスが接続されていない
- ・Thunderboltデバイスが接続されていない
- ・SDカードが挿入されていない
- ・外部ディスプレイが接続されていない

Chapter 1 [マウスとトラックパッドの基本]

マウスとトラックパッドの 基本操作を覚えよう

NEW

UP

iMacには標準で「Magic Mouse」(マジック・マウス)というマウスが付属しています。オプションで選択できる「Magic Trackpad」(マジック・トラックパッド)と合わせて解説していきましょう。

基本

応用

趣味

実用

▶ マウスやトラックパッドはこう使う!

「Magic Mouse」を机の上で動かすと、iMacの画面上に表示している矢印(ポインタ)が連動して動きます。Magic Mouseにはコードがないので上下がわかりにくいかもしれませんが、表面のアップルマークが正しく見える向きで持ちましょう。親指と薬指、小指でマウスを軽く挟み込み、人差し指と中指をマウスの表面に添えます。

マウスを動かしてもポインタが動かない場合は、マウ

スの電源スイッチが入っているか確認しましょう。このマウスは一見したところ、ボタン類がなく非常にシンプルな形状ですが、マウスに手を置いて左半分を指でクリックすると通常のクリック、右半分を指でクリックすると右クリックとして機能します。

オプションの「Magic Trackpad」は、マウスを動かす代わりにトラックパッドの表面を指でこすると、ポインタが動きます。

人差し指と中指を
このように置きます。

Magic Trackpadを指でこすると、
画面のポインタが連動して動きます。





試し読みはお楽しみ
いただけましたか？

ここからはManatee
おすすめの商品を
ご紹介します。

Manatee Tech Book Zone 

おすすめ 電子書籍

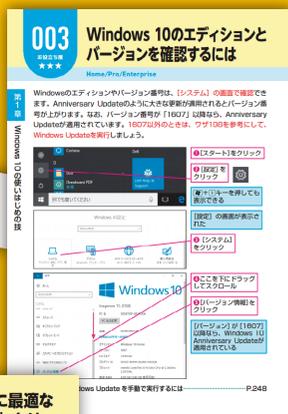
1

2

「Windows・Mac・スマートフォン」

Windows 10のトラブル解決&活用ワザが満載!

本書は、目的別に213個のワザでWindows 10の便利な機能と新機能を解説。同OS最大の特徴である[スタート]メニュー、[設定]画面、Microsoftアカウントの使い方がよく分かります。通読すればWindows 10の機能が身に付くこと間違いありません。「Microsoft Edge」「指紋認証」「Cortana」「Windows Inkワークスペース」といった新機能もしっかりフォロー。使っていて遭遇しがちなトラブルも対応方法を紹介しています。



各テクニックはお役立ち度でランク付け。目的や知りたことからワザを探せる



初めてWindows 10を使う方、Windows 10を使い始めた方に おすすめ!

すぐに効くテクニックが満載! MacBookを便利に使いこなせる

「MacBook」「MacBook Air」「MacBook Pro」の使い方がキホンからわかる解説書です。macOS Sierra(シエラ)をサポートしています。最新のMacBook Proに対応しており、気になるTouch Barの使い方をしっかり掲載しました。さらに iCloudの仕組み、iPhoneとのデータやり取り、写真や動画の管理、ビジネスでの活用法など、MacBookをより便利に使いこなせる内容になっています。MacBookを使いこなすのに最適な1冊です。



MacBookの特徴や、基本的な使い方から解説。はじめてMacに触れる方でも理解できる



WindowsからMacに移行したばかりのユーザーが戸惑う操作もしっかりフォロー

できるポケット
Windows 10 困った!
& 便利技 213 改訂 2版

インプレス
広野忠敏・できるシリーズ編集部(著者)
272 ページ
価格: 853 円 (PDF)



MacBook マスターブック
macOS Sierra 対応版

マイナビ出版
松山茂・矢橋司(著者)
320 ページ
価格: 1,922 円 (PDF)



Mac

**Windows 10 の基本 & 応用！
使いこなすための一冊**



3

**ふだんの仕事で役に立つ
ショートカットキー 280 個**



4

**正確さと速さを両立した
タイピングを身に付ける**



5

&

&

**Windows 10 使いこなしガイド
Anniversary Update 対応**

本書では、Windows 10 の基本操作からもっと便利な Windows 10 の使いこなし方まで網羅。ワンランク上の知識が身に付くコラムも満載です。Windows 10 を使う際に覚えておきたい知識やテクニックを幅広く紹介しています。

マイナビ出版
朝岳健二 (著者)
128 ページ 価格：953 円 (PDF)

**できるポケット
一瞬で差がつく PC 活用術
ショートカットキー 全事典**

仕事に便利な 280 個のショートカットキーを操作方法とともに解説。利用頻度の「よく使う度」、作業がどれくらい速くなるかの目安「短縮度」、実践的な使い方を紹介する「組み合わせ」など、役立つヒントが満載です。

インプレス 株式会社インサイトイメージ (著者)、
できるシリーズ編集部 (編集)
208 ページ 価格：972 円 (PDF)

**キー入力がみるみる速くなる
タイピング上達の法則**

タッチタイピングの習得は、決して難しくありません。本書はよく使うキーから覚えていくため、無理なく正確なキー入力が身に付きます。オリジナルの文例で繰り返し練習すれば、メキメキと上達を実感できるでしょう。

マイナビ出版
朝岳健二 (著者)
96 ページ 価格：950 円 (PDF)

**PowerShell を使いこなして
Windows システムを管理**



6

**macOS Sierra を完全解説
416 ページの大ボリューム**



7

**大画面 & 高性能カメラの
iPhone 7 Plus を徹底解説**



8

&

&

**Windows PowerShell
逆引きハンドブック**

Microsoft が Windows 用に開発したコマンドライン方式のシェルと、スクリプト実行環境である Windows PowerShell の使い方を逆引き方式で解説。ほぼすべてのコマンドを網羅し、最新のバージョン 5.0 に対応しています。

シーアンドアール研究所
蒲生健男 (著者)
736 ページ 価格：4,082 円 (PDF)

**macOS Sierra
マスターブック**

macOS Sierra の新機能、アップグレード機能をはじめ、ほぼすべての機能を網羅した大ボリュームの解説書です。新機能を含むほとんどの機能を、画面写真とステップバイステップの解説でわかりやすく説明しました。

マイナビ出版
小山香織 (著者)
416 ページ 価格：2,138 円 (PDF)

**できるポケット
ドコモの iPhone 7 Plus
基本&活用ワザ 100**

通話やインターネットといった基本はもちろん、ドコモメールの設定や電話帳の移行など、ドコモの iPhone 7 Plus の使い方を丁寧に説明。さらに、おすすめのアプリやまめ知識など、iPhone を楽しむヒントが満載です。

インプレス 法林岳之・橋本保・清水理史・白根雅彦・
できるシリーズ編集部 (著者)
288 ページ 価格：950 円 (書籍)